

ルクセンブルク経済・金融（各種報道取りまとめ:2015年7月後半）

1. 経済

- 国際アントレプレナーシップ・モニタリング（GEM）によると、2014年のルクセンブルクの労働人口（18-64歳）に占めるアントレプレナーの割合は国際平均と同水準の7.1%で、フランス、ベルギー、ドイツ（いずれも約5%）より高いが、米国や豪州（約14%）には及ばず。（16日付ヴォルト紙及び14日付統計局プレスリリース）
- ルクセンブルクの海事クラスター（海運産業団体）に新たに8社が参入し、計55社となった。（16日付ターゲブラット紙）
- Post Luxembourg社は、2017年を期限とするパートナーシップ協定をTechnoport社（技術系スタートアップに対して事業支援を行う企業。本社：ルクセンブルク）と締結。Technoport社が支援するスタートアップとの交流を促進する目的。（16日ターゲブラット紙）
- ルクセンブルクの2014年のGDP成長率は+5.6%に。2015年第1四半期のGDPは、前年同期比+4.9%、前年第4四半期比+0.7%。（16日付統計局プレスリリース）
- 世界各国で現地オプションツアーのオンライン予約サービスを提供するベルトラ株式会社（VELTRA、本社東京）がルクセンブルクに拠点を設置予定と発表。（16日付政府広報）
- クロズナー経済担当閣外相は16日、国民議会に対し、ルクセンブルクとしてのブランドに関するネーション・ブランディング委員会（2014年発足）の初の検討結果を報告。中心となるブランド概念は、信頼性、ダイナミック、開放性の3点に。同委は検討を継続予定。（16日ヴォルト紙電子版）
- スイス統計局が2015年7月に発表した、欧州の労働市場に関する報告書によると、2010年のルクセンブルクにおける平均年間従業員報酬は51,008ユーロで、調査対象31カ国中4位。（17日付ル・コティディアン紙）
- ナバーラ大学ビジネススクール（IESE、スペイン）が公表した、ベンチャーキャピタルにとって魅力的な国ランキング2015によると、ルクセンブルクは総合評価で世界120カ国中34位。（17日付ヴォルト紙）
- ベッテル首相兼通信メディア相及びグラマーニャ財務相による15-18日の訪日中、仮想通貨ビットコイン販売会社bitFlyer（本社：東京）がルクセンブルクに欧州本部を設置する可能性を示唆。（17日付財務相コミュニケ及び18日付ヴォルト紙電子版）
- 首相府メディア通信総局と地図・地形に関する当国機関Cadastreは、デジタル産業分野における戦略「Digital Letzebuerg」の一環として、当国の超高速

ブロードバンド普及状況を自治体単位で示した地図を初めて作成し、22日に公表。都市、地方のいずれにおいても超高速ブロードバンド（30Mbit/秒以上）の家庭への普及率は80%以上で、Hobscheid（当国西部に位置）が同サービスを最も受けやすい自治体と判明。（22日付メディア通信総局コミュニケ及び23日付Chronicle.lu電子版）

●2015年6月の失業率は6.9%（前月は6.9%、前年同月は7.2%）。（24日付統計局及び職業安定所プレスリリース）

●2015年上半期の当国政府収入は63.7億ユーロで、当初の見込みより僅かに増加。（24日付ターゲブラット紙）

●2015年7月の消費者信頼感指数は+3（前月は+1）。（29日付中央銀行プレスリリース）

●ArcelorMittal社の2015年第2四半期の総売上高は168.9億米ドル（同年第1四半期は171.18億米ドル、前年第2四半期は207.04億米ドル）、純利益は1.79億米ドル（同年第1四半期は7.28億米ドルの純損失、前年第2四半期は5,200万米ドルの純利益）。（31日付ArcelorMittal社プレスリリース）

2. 金融

●ルクセンブルクファンド協会（ALFI）会長のVoss氏は、成長するブラジルの中間所得層がルクセンブルクの金融市場にとっての投資家になりうるとして、ALFIによるブラジルでのプロモーションを少なくとも年に1度は実施すると発言。（24日付ターゲブラット紙）

●2015年上半期の当国銀行部門の引当金計上前利益は、29.96億ユーロ（前年同期比+2.8%）。（30日付金融監督委員会コミュニケ）

●KPMG社の「Luxembourg Bank Insights 2015」によると、当国銀行部門の2014年純利益は42億ユーロ（前年比+15%）。純利益が最も大きかったのはSociete Generale Bank & Trust（6.1億ユーロ、前年1位）で、次にBCEE（ルクセンブルク国立貯蓄銀行）が2.19億ユーロ（前年2位）、3位にState Street Bank Luxembourg（1.96億ユーロ、前年18位）。（31日付ヴォルト電子版）

3. 政府

●ベッテル首相兼通信メディア相及びグラマーニャ財務相、15-19日の日程で訪日。ベッテル首相は安倍総理、山口IT政策担当大臣とそれぞれ会談。グラマーニャ財務相は甘利経済財政政策担当大臣、黒田日銀総裁とそれぞれ会談。（17日付首相府及び財務省コミュニケ）

●シュナイダー副首相兼経済相、20日にルクセンブルクにて非公式EU理事会（競争担当相会合）に出席し、議長を務める。（21日付経済省コミュニケ）

- ベッテル首相、21日にルクセンブルクにてビジネスヨーロッパ（注：EU加盟国の経済団体連合会を会員とする欧州の産業団体。本部：ブリュッセル）の会長 Emma Marcegaglia 氏らと会談。（21日付政府広報）
- グラメーニャ財務相、在ルクセンブルク中国大使として新たに着任した Huang Changqing 氏と会談。（28日付財務省コミュニケ）

※当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。